

令和7年度

# 第1回ひきこもり支援団体等 運営力向上研修

本研修会は、県内のひきこもり支援に携わる皆様が、厚生労働省が策定した「ひきこもり支援ハンドブック～寄り添うための羅針盤」をより身近に感じ、日々の支援実践に活かしていただくことを目的としています。

第1部では、ハンドブックに込められた支援の考え方や方法について理解を深めるとともに、支援の現場で感じている悩みや迷いをグループで共有し、対応のヒントを探ります。

第2部では、ひきこもり状態にある方の背景や状況を多角的に捉える視点を養うことをねらいとし、方針や答えを出さないことを特徴とする「長谷川メソッド」により事例研究を行います。

8.20 水 13:30-17:00

- [場所] 兵庫県農業共済会館（〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目15-3）
- [対象者] 県内のひきこもり支援に携わる支援者及び団体 県内市町ひきこもり支援担当職員
- [定員] 80名(先着順)
- [参加費] 無料
- [持ち物] ハンドブック（プリントアウトしてお持ちください）、バインダー、筆記用具  
ハンドブック掲載URL：<https://hyogo-hopstepjump.info/information/hints/>
- [講師] 白梅学園大学名誉教授  
social work lab MIRAI 代表  
厚生労働省「ひきこもり支援ハンドブック」検討委員会委員長  
長谷川 俊雄 氏

13:30～ (5分)	開会
13:35～ (90分)	【第1部】 ・ひきこもり支援の方法論 ・グループワーク「支援の中での困りごと」
15:05～ (15分)	休憩
15:20～ (90分)	【第2部】 ・事例研究① ・事例研究②
16:50～	閉会



## 講師プロフィール

行政のソーシャルワーカーとして横浜市役所に勤務後、精神科クリニックへ転職。不登校やひきこもりなど思春期・青年期の「生きづらさ」や、家族であることが「苦しい」と感じる人々と向き合う日々を送る。その後、愛知県立大学の教員となり、生きづらさを抱える子どもや若者との交流を続ける。2009年には「NPO法人つながる会」を設立し、社会に傷ついてひきこもっている人、がんばりすぎて心が疲れている人、病気を経験して自信が持てない人の居場所「つながるcafé」を横浜市に開設。2010年から白梅学園大学へ移籍し、教育・実践・政策提言に携わる。2023年には「social work lab MIRAI」を川崎市に開設し、フリーランスのソーシャルワーカーとして研究・支援活動を継続。厚生労働省「ひきこもり支援にかかる支援ハンドブック」策定検討委員会の委員長を務める。

白梅学園大学名誉教授

social work lab MIRAI 代表

厚生労働省「ひきこもり支援ハンドブック」検討委員会委員長

長谷川 俊雄 氏



## 申込み

【申込み】 令和7年8月8日(金)までに、以下の申込フォームよりお申込みください。

URL: <https://forms.gle/NOXfSOxLHd2tUYXx7>



※上記フォームがご利用出来ない場合は、

NPO法人コムサロン21 (hikikomori@com21.or.jp) まで

- ①ご所属の市町名または団体名、②参加人数、③参加者のお名前、④職種、
- ⑤事例の概要（事例提供をしていただける場合）⑥電話番号、
- ⑦メールアドレスをお知らせください。

**第2部の事例研究で取り上げる事例を参加者の皆さまから募集いたします。**

【事例提供の方法】

事例をご提供いただける場合は、研修会の申込時にひきこもりに関する事例の概要（200文字程度）も併せてご記入ください。

※ご提供いただいた事例の中から選出させていただきます。

※当日、事例提供いただく方には、別途ご連絡いたします。

## 問い合わせ

■兵庫県福祉部障害福祉課 身体・知的障害福祉班  
担当：野口 TEL：078-362-9497

■認定NPO法人コムサロン21  
担当：田尻 TEL：079-240-6299